

国際ロータリー第2640地区

堺フェニックスネット例会

SAKAI PHOENIX Rotary Club

四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

2017 - 2018年度

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

地区ガバナー 岡本 浩
 会 長 仲峯 豊
 幹 事 カスムニアズ

堺フェニックスネット例会事務局

〒590-0021

堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16 C-17

TEL 072-227-4900 / FAX 072-227-4991

例会日 毎月15日より次月14日

ホームページより参加下さい。

<http://www.sakaiphoenix.com>

メールアドレスにて返信ください。

sakai.phoenix.1997@gmail.com

第1回ネット例会

2017年7月15日

2017-18年度 第1回ネット例会式次第

開 会 点 鐘	会 長	仲 峯 豊
R I 会 長 挨拶	会 長	イアン ライズリー
クラブ会長 挨拶	会 長	仲 峯 豊
クラブ幹事 挨拶	幹 事	カスムニアズ
炉辺談話総集編	第1回	
皆 様 の ペ ー ジ		
閉 会 点 鐘	会 長	仲 峯 豊



2017-18年度会長

イアン H.S. ライズリー

2017-18年度 第2回ネット例会ご案内

8月15日より 1カ月間

「地域社会のすべての人とつながり、すべての人を代表し、支援するためにリーダーシップを発揮できる」女性をロータリーが必要としていると述べました。

さらに、現会員のうち40歳未満はわずか5%であり、会員の大半が60歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」



ROTARY : MAKING A DIFFERENCE 2017-18年度 RI会長 イアン E・S ライズリー

ロータリー：変化をもたらす

会長開会点鐘



ネット例会を開会致します。

RI会長からのメッセージ

イアン H.S.ライズリー

2017-18年度会長

(ロータリーの友7月号抜粋)



ロータリアンの皆さまへ

ロータリーに入会する理由は、ロータリアンの数だけあります。もしかしたら、もっと多いかもしれません。しかし私たちはそれぞれ、入会してから生活の中で何かが変わったと感じるからこそ、ロータリーにとどまっているのでしょう。ロータリーを通じて私たちは、「変化をもたらして」います。ロータリーに積極的に参加すればするほど、私たち一人ひとりにも変化がもたらされます。ロータリーは私たちに、もっと良い人間となり、もっと意欲的に、高い目標に向かって努力し、毎日の生活に「超我の奉仕」を取り入れるよう、常に銘記させてくれます。

ロータリークラブやロータリアン一人ひとりが、奉仕を通じてどんな変化をもたらすかは、常に各自が決めることです。私たちはひとつの組織として、理事会が戦略計画の中で決定した3つの戦略的優先項目、すなわち「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を指針として行動します。

まずクラブのサポートについては、今後1年間にオンラインツールが大幅に改善されます。たとえば、Rotary.orgは一新され、ロータリー財団への補助金申請手続きがシンプルになり、My ROTARYの使い勝手がよくなり、ロータリークラブ・セントラルの構成が変わります。クラブの強化にあたって特に大きな課題は、会員の男女バランスと平均年齢の二つです。今後も強いクラブであり続けるには、地域社会を映し出すような会員構成とし、次世代のために知識豊富なリーダーを育成し続ける必要があります。長年にわたり、私たちの奉仕活動すべての根幹に関わってきた問題があります。それは、持続可能性です。持続可能な奉仕とは、ロータリーによる直接参加が終わった後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。たとえば、ただ井戸を掘っただけで立ち去るのではなく、村人たちが井戸の手入れと修繕をできるようにしなければなりません。病院を建てたなら、ロータリーからの支援がなくても経営を続けられる方法を、きちんと確立しなければなりません。ポリオについて言えば、私たちの活動が目指すのは、ウイルスの単なる抑止ではなく、「撲滅」です。

ポリオ撲滅は、持続可能な奉仕の、いわば究極的なかたちです。その活動資金を支援することで、私たちは全世界の人びとに、長期的どころか永続的な恩恵をもたらすでしょう。この活動が完了するまでは、最優先としていかなければなりません。

112年にわたってロータリーは、計り知れないほど多くの人に多くの方法で変化をもたらしてきました。初代会長ポール・ハリスの掲げた小さなたいまつを、世代から世代へと引き継いで「変化をもたらす」ながら、今私たちはここにいるのです。

会 長ご挨拶 仲峯 豊



はじめまして、堺フェニックスロータリークラブ会長の仲峯 豊と申します。
いよいよ2017-2018年度第1回目の堺フェニックスネット例会がスタートいたします。
ご参加いただき感謝申し上げます。
ネット例会スタートに先立ち、一言今年度の私達クラブの活動方針をご報告いたします。

クラブ基本方針

会員の一人一人の変化をもたらす「超我の奉仕」を胸に！
(Members of making difference into “Service Above Self”)

クラブ活動方針

ロータリアン一人ひとりが、例会、親睦会、奉仕活動を通じてどんな変化をもたらすかは、常に各自が決める中で、私たちはひとつの組織として、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を活動方針といたします。

キーワード 『なにか心に超我の奉仕を！』

活動方針

クラブ管理運営 ・皆出席を目標にネット例会の利用・例会、親睦会、家族例会の充実・ロータリー研修会の実施

会員増強維持 ・会員数100名を維持 目標150名・会員1人がおひとりの新入会員を紹介する。
・例会、親睦例会に入会希望者をお客様として参加していただく。

広報・公共イメージ ・クラブの実施報告、活動報告等いろいろな形で広報していく
・ホームページの充実
・ロータリーの友への投稿
・ネット例会の充実
・地域新聞・マスコミ等への投稿
・広報会員(芸能・スポーツ関係)の活動の応援をしていく

奉仕プロジェクト(社会・国際・青少年)

- ・社会奉仕…堺プロバスクラブへの支援、堺市福祉協議会への支援等
- ・国際奉仕…タイ・ルンピニRCと他海外クラブとの共同奉仕事業、海外留学生の受入
- ・青少年奉仕…IAC(初芝立命館・帝塚山学院泉ヶ丘)との交流・合同例会の開催
- ・RAC(堺フェニックスRAC)との共同事業・奉仕活動の積極的な参加

ロータリー財団 ・地区補助金の利用・寄付 1人当たり200ドル・ポリオプラス 1人当たり50ドル
・会員全員がポールハリスフェローを目指す

米山記念奨学事業 ・米山梅吉記念館への訪問
・積極的な寄付金の納付

今後私たちのネット例会はロータリアン皆様で作っていく例会であり、どんどんいろんなご意見や卓話を頂戴したいと思います。既成にとらわれず楽しく、有意義なネット例会にしていきたいと思います。
シリーズといたしまして、かつてロータリアンの皆様が「炉辺談話」を行った内容を掲載させていただきます。

当然に堺フェニックスロータリークラブの会員が参加するネット例会ではありますが、しかし国内外のたくさんのロータリアンの皆様にご参加していただいて素晴らしいネット例会に築きあげていただければと思います。
同時に私たちクラブのホームページも楽しんで頂ければと思う次第です。尚、感想文・卓話・近況等は、次回のネット例会に掲載させていただきます。掲載させて頂いたロータリアンの皆様にはメーカーカードを発行させていただきます。どうぞ堺フェニックスネット例会にご参加いただければ幸いです。
以上でご挨拶に代えさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

幹事ご挨拶

カスムニアズ・アドラフマン



ロータリアンの皆様こんにちは。
いよいよ2017-2018年度堺フェニックスネット例会が始まりました。
全国のロータリアンの皆様どうぞ気楽にご参加ください。

まず自己紹介からさせていただきます。
私の名前はカスムニアズ・アドラフマンと申します。
私は元米山記念奨学生の出身で現在日本で在住しております。
米山奨学生の時に受けた素晴らしい事、また御恩に報いる為、ロータリアン
となって今日に至っております。
元米山奨学生として恥ずかしくないクラブ幹事を勤めさせていただきます。
今後共、何卒よろしくお願い致します。

尚ネット例会にご参加頂いたロータリアンの皆様には一切メーキャップ費用
等はありません。

ご参加頂いたロータリアンの皆様からメールでご要望、講評、感想文、
卓話等をお寄せ下さい。次回のネット例会に掲載させていただきます。
必ず返信メールにてメーキャップカードを発行させていただきます。
また堺フェニックスRCのホームページもお楽しみください。
クラブ会員の皆様は近況をお寄せください。
皆様で楽しく、為になるネット例会にしていきたいと思えます。
何卒、皆様のご協力で、今後も素晴らしいネット例会になる事をご期待をし
てご挨拶に返させていただきます。
ありがとうございました。

炉辺談話総集編

No. 1

1999年—2000年

公衆便所設置運動

シカゴ・クラブが公衆便所を設置し、これがロータリーの最初の奉仕活動となったことはあまりにも有名な話です。

1907年、シカゴ・クラブ会長に就任したポール・ハリスは、たまたま出席した商工会の集まりで、ループ地区(シカゴ中心部)の通行人が公衆便所がないために不便な思いをしているという話を聞きこみ、これを奉仕活動を実践する絶好の機会だと捉えました。

シカゴ・クラブは、早速、グレート・ノーザン・ホテルに25の市民団体の代表を集め、連合公衆便所建設委員会を設立して、行政に働きかけますが、既に施設内にトイレを持っていることを強く主張する、シカゴ醸造組合と百貨店組合の激しい妨害を受けます。

当時のループ地区で顧客用にトイレを供用していたのは、百貨店かバー位しかなく、トイレを借りる必要に迫られた通行人は、女性は化粧品を買うことを口実に百貨店に入り、男性はビールを飲みバーの扉をくぐったついでに、トイレを借りなければなりません。もし、無料のトイレができれば、これらの店の収入に影響を与えることは、誰の目にも明らかでした。交渉は長引き、土地を掘り起こすまでに2年の歳月が掛かってしまいましたが、最終的には、建設用地と20,000ドルの補助金を市当局から受け取ることに成功して、1909年に市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所が出来あがったのです。

ロータリーが最初に行った社会奉仕活動は、単に金銭を抛出した団体奉仕活動ではなかったことに注目しなければなりません。

1999年7月13日

ジャングルの法則

「狼は群の力であり、群は狼の力である。」これは、ルドヤード・キップリングが、短編集「ジャングル・ブック」の中の「ジャングルの法則」で述べている言葉です。キップリングは1865年生まれで、1907年にノーベル文学賞を受賞した、イギリスの愛国詩人と言われる人です。ポール・ハリスと同年代に活躍した人ですから、あるいはロータリアンであったかも知れません。

この言葉を最初に引用してロータリアンを語ったのは、1917年のR I会長レスリー・ピジョンが会長エレクト時代ですが、後年、ハロルド・トーマスも、この言葉が特に気に入ったと見えて、彼の著書「ロータリアン・モザイク」の中で再三引用しています。

ハロルド・トーマスは、1959年にR I会長を務めたニュージーランド出身のロータリアンで、「ロータリアン・モザイク」という名著を残しています。モザイクは形も色も大きさも異なったタイル片を組み合わせて作ります。ロータリアンも人種や言語や宗教やそして考え方や違った人が集まって作り上げるモザイクのようなものだと言うことで、この題名をつけたといわれており、1905年から1970年代までのロータリアンの思想の移り変わりを詳しく解説した本です。その本の中で、キップリングの「ジャングルの法則」が度々、引用されています。

「狼は群の力であり、群は狼の力である」

この言葉は一体何を意味するのでしょうか。一匹、一匹が強靱な体力と優れた頭脳を持っている狼は、群を作って行動します。群には必ずリーダーがいて全体を統率します。

リーダーが優れたリーダーシップを発揮し、他の狼がチームワークを組んで一糸乱れぬ行動をするとき、その力は計り知れないものに変化します。羊は例え1000匹集まったとしても何の力も発揮出来ません。群から離れた一匹狼も、荒野をたださまようのみで、やがては野垂れ死にする運命が待っているのです。

この例えは I serve とか We serve とかの次元の話ではなく、ロータリアン個人個人は皆素晴らしい能力を持っていることを前提として、それに強力なリーダーシップと、揺るぎなきチームワークが加わったらどうなるかを説いているのです。

魅力あるクラブには、必ずといっていいほど、優れたリーダーシップを持った会長がおり、全会員のすばらしいチームワークによって、クラブの運営がなされていくのです。

〔ご参加頂いたロータリアン様の声〕

ロータリアン皆様の声を掲載させていただきます。
次回からよろしくお願い致します。



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
ВОЛОНТЕРЫ: ДЕЛАЮЩИЕ РАЗНИЦУ



Rotary 

会長閉会点鐘



ネット例会を閉会致します。
ご参加ありがとうございました。